

会社経歴書

令和5年6月(2023年)

アイニックス株式会社

<https://www.ainix.co.jp/>

会社概要

商号	アイニックス株式会社 AINIX Corporation
本社所在地	〒153-0044 東京都目黒区大橋 1-6-2 池尻大橋ビルディング TEL: (03)5728-7500(代表) (03)5728-7576(営業) FAX: (03)5728-7510
設立	平成6年3月1日(1994年)
資本金	9,700万円
役員	代表取締役 平本 純也(自動認識コンサルタント) 取締役 平本 泰義 取締役 関口 恭司 監査役 成井 実
主要株主	平本 純也、アヴネット株式会社、従業員持株会
決算期	年1回、3月
年商	27億2,500万円(令和5年3月)
従業員数	58人(常勤役員、契約社員、パート含む)男性43人、女性15人
取引銀行	みずほ銀行 世田谷支店 三菱UFJ銀行 三軒茶屋支店 三井住友銀行 目黒支店
営業所	大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-22-20 川丸ビル TEL: (06)6838-3071 FAX: (06)6838-3117 名古屋営業所 〒461-0011 名古屋市中区白壁1-45 白壁ビル TEL: (052)950-7510 FAX: (052)950-7570

【グループ会社】

株式会社ボーグテクノロジー(ソフトウェアの企画、設計、制作、販売)
東京都台東区上野7-2-8 岡田タイルビル

【参加団体】

(一社)日本自動認識システム協会(JAISA)
(一社)流通システム開発センター(GS1 Japan)GS1 Japanパートナー
(公社)日本ロジスティクスシステム協会(JILS)
関東ITソフトウェア健康保険組合

【事業内容】

- 自動認識技術のコンサルティング
- バーコードの作成、読取、入力、収集のパッケージソフトウェアの開発、物流管理ソフトウェアの開発。
- バーコード、RFID、生体認証、モバイル、無線LAN、IoT、デジタル表示機、電子棚札/電子ラベル、コンピュータ、物流機器、サプライなどの機器販売。
- 倉庫管理、配送管理、音声ピッキング、デジタルピッキング、資産管理、文書管理、ダイナミックプライシング、ラベル発行、IoT監視、企業モバイルなどのシステム開発。
- モバイル通信、電波測定、バーコード検証、クラウドWMS、クラウドPOS、害獣捕獲監視などのサービス提供。

【主要製品】

◆ 自動認識機器

バーコードスキャナ、バーコードプリンタ、シートリーダ、ラベラー、ハンディターミナル、業務用モバイルコンピュータ、業務用タブレット、産業用スマートグラス、バーコード検証機、バーコードラベル、RFIDリーダ、RFIDプリンタ、RFIDタグ、OCRリーダ、磁気カードリーダ、ICカードリーダ、指紋認証機器、静脈認証機器、顔認証機器、画像認識機器、決済ターミナル、他

◆ ネットワーク機器

アクセスポイント、無線LANスイッチルータ、無線モデム、無線ネットワーク、有線LAN機器、M2M機器、IoT機器、他

◆ ソフトウェア

バーコード作成ソフト BarStar Pro、バーコードラベル作成ソフトLabel Star Pro、データ入力ソフトRS-receiver Lite、バーコード読取ソフトImageStar / Swift Decoder / Scandit、モバイルミドルウェアEmPlus、音声認識ソフト Lydia Voice、運行管理ソフト Silver Cruise、配車管理ソフト「POT配車」、他

◆ システム

倉庫管理システム POT Manager、倉庫管理クラウドシステム LFS、入荷・検品・棚卸システム POT Check、音声ピッキングシステム Lydia Voice / POT Voice、音声点検システム Check Voice、棚卸システム「POT棚卸」、バーコード検査システム「かたんチェッカ」、リストバンド作成システム「かたんリストバンド」、ラベル印刷システム「かたんラベル」、無線LANシステム、IoT監視システム、電子棚札システム Newton ESL、デジタルピッキングシステム Newton LED Picking/CAPTRON LED PIC、他

◆ サービス

モバイル通信サービス AINIX MOBILE、クラウドWMS「LFS」、クラウドPOSシステム「スマレジ」、害獣捕獲監視サービス「わなタグ」、他

経営理念

“We provide the best Auto-ID Solution in the one stop.”

“Create the Value by Auto-ID and Network.”

◆ 自動認識技術とネットワーク技術により、新しい価値を創造し、社会に貢献します。(社会貢献)

自動認識技術は、「高精度化と効率化」や「安全と安心」を提供します。また、無線ネットワーク技術は、フレキシブルでリアルタイムなワークフローを実現します。そこで、アイニックスは、自動認識技術とネットワーク技術を利用して新しい価値を創造し、社会に貢献します。

◆ お客様の立場に立ったベストソリューションの提供により、お客様と確かな信頼関係を築きます。(お客様満足)

自動認識技術は、それぞれの特長から適材適所に選択し、目的や環境に適した機器を使用しなければなりません。アイニックスは、お客様の目的、予算、環境等に適した自動認識技術を選択し組み合わせ、お客様の立場に立った最適なソリューションをワンストップで提供します。

◆ パートナーシップとアライアンスにより、利益とリスクを共有し、相互の発展を目指します。(お取引様満足)

自社の企画力、提案力とパートナーの開発力を融合させ、グローバルに調達した機器と合わせて安価で優れたソリューションを提供します。アイニックスは、独自技術を持った企業と協力することにより、ビジネススピードを加速させ、リスクと利益を共有し、相互の発展を目指します。

◆ 明確なビジョンとコンセプトを基本に、戦略的かつ健全な企業活動を通じて、株主と価値を共有します。(株主満足)

これまでリアルタイム実在庫管理のPOT (Point of Transportation)、インターネットと融合させたe-Barcode、バーコードを簡単にするEasy Barcodingなどのコンセプトを提案してきました。アイニックスは今後も新コンセプトを提案することによって企業価値を高めて参ります。

◆ 社員一人ひとりが、能力を最大限発揮し、自己実現できる環境を創出します。(社員満足)

アイニックスは、自主、自律、自由、パートナーシップの精神により、高い志と目標を持ち、プロとしてのスキルを身に付け、どんな課題にも果敢に挑戦し、諦めずにやり遂げる熱意と執念を重視します。また、既成概念に囚われず自由に発想し、目標達成に向けて相互に協力します。

沿革

平成6年
1994

- 3月 世田谷区上馬に会社設立。
- 4月 富士通とパソコンの販売パートナー契約。
台湾RELIA社と代理店契約し、LAN機器を輸入販売開始。
- 6月 台湾TAMARAK社と代理店契約し、LANデバイスを輸入販売開始。
- 9月 「二次元コードによるカード発行システム」が、東京都企業化助成事業に採択。
- 11月 入庫・ロケーション管理システムPOT/2を開発。

平成7年
1995

- 4月 バーコード作成ソフトBarStar V1.0を(株)プラネットと共同開発。
データ入力ソフトRS-receiver V1.0を(有)奥村鉄工所と共同開発。
- 5月 台湾FAMTECH社のCCDスキャナCCD720を輸入販売開始。
- 9月 京都営業所を亀岡市に開設。
ラベル印刷ソフトLabelStar V1.0を(株)プラネットと共同開発。
- 12月 EUB (End User Barcoding)のコンセプトを提案。

平成8年
1996

- 5月 32ビット対応のバーコード作成ソフトBarStar V1.3を開発。
32ビット対応のデータ入力ソフトRS-receiver V1.1を開発。
- 7月 資本金2,200万円に増資。
SANスモールエリアネットワークのコンセプトをWindows Expoで提案。
- 9月 台湾EDIMAX社と代理店契約し、LAN機器を輸入販売開始。
- 10月 台湾ADVANTECH社のPCカードComPad-32/85を輸入販売開始。

平成9年
1997

- 1月 米国WelchAllyn社のバーコードリーダを輸入販売開始。
- 2月 ラベル印刷ソフトLabelStar Pro V1.0を(株)プラネットと共同開発。
- 4月 福岡営業所を福岡市南区に開設。
- 9月 「二次元コードによる鋼板出荷管理システム」が、国際自動認識工業会AIMジャパンのシステム優秀賞を受賞。
- 10月 OLEオートメーション対応のBarStar V2.0を開発
- 12月 データ入力ソフトRS-receiver Pro V1.0を開発。

平成10年
1998

- 1月 BarStar V1.4英語版を開発。
- 4月 大阪営業所を淀川区西中島(新大阪)に開設。
広島営業所を福山に開設。
- 7月 資本金3,000万円に増資。
- 8月 (株)オリンパスシンボルとバーコード製品のVAR販売契約。

平成11年
1999

- 3月 ハンディターミナル開発ソフトPotStar V1.0を(株)テスコと共同開発。
ポリエステルラベルPLWを開発。
- 4月 入出荷・ロケーション管理システムPOT/2 V3.0を開発。
- 7月 データ入力ソフトRS-receiver V2.0を開発。
- 11月 「二次元シンボルによる招待者管理システム」が、日本包装機械工業会主催の展示会Japan Packに採用。

平成12年
2000

- 4月 名古屋営業所を西区牛島町に開設。
東芝テック(株)とバーコード特約店契約を締結。
- 6月 バーコード作成ソフトBarStar Pro V1.0を(株)プラネットと共同開発。
- 7月 資本金4,800万円に増資。
- 8月 ハンディターミナル簡易開発ソフトPotStar V2.0を開発。
- 9月 「二次元シンボルによる招待者管理システム」が、(社)自動認識システム協会の第2回自動認識システム大賞(優秀賞)を受賞。
- 10月 インターネットバーコード利用のe-Barcodeのコンセプトを提案。
- 12月 新株引受権付社債6,000万円を発行。

平成13年
2001

- 2月 資本金を7,300万円に増資。
- 3月 本社を目黒区大橋に移転。
国際見本市CeBITにBarStarとComStarを出品。
- 6月 データ入力編集ソフトComStar V1.0を開発。
- 7月 Web対応のバーコード作成ソフトBarStar Pro DTK V1.1、
データ入力ソフトRS-receiver Lite V1.0を開発。
- 8月 カシオ計算機(株)とモバイル機器の代理店契約。
- 9月 資本金8,500万円に増資。
医療材料ラベル発行ソフト「かんたんラベル」V1.0を開発。

平成14年
2002

- 3月 資本金9,700万円に増資。
バーコード読取ソフトImageStar V1.0、医療材料データ収集ソフト「かんたん収集」V1.0、EAN128「かんたんチェック」V1.0を開発。
- 4月 京都営業所、広島営業所、福岡営業所を大阪営業所に統合。
- 5月 JAVA対応のバーコード作成ソフトBarStar Pro Java V1.1を開発。
- 7月 米国Handheld Products社のバーコード検証器を輸入販売開始。
- 9月 Handheld Products社とビジネスパートナー契約。

平成15年
2003

- 1月 台湾PC Worth社と代理店契約し、CCDスキャナFBC3870を輸入販売開始。
- 3月 本社事務所をトーセンビル5階から1階に移転。
- 5月 経団連主催のベンチャー企業フォーラムで企業紹介。
- 6月 Handheld Products社のリニアイメージャ IT5600と
二次元イメージャ IT4600を輸入販売開始。
- 11月 Handheld Products社のイメージャエンジン IT4010 / IT4080を
OEM販売開始。

平成16年
2004

- 4月 米国Intermec社のイメージャエンジンEV10をOEM販売開始。
- 6月 文書配信ソフトCrossDoc Transer BarPlusを(株)バイスネットと
共同開発。
- 9月 「RFIDによるオートゲート駐輪場管理システム」が、(社)自動認識
システム協会の第6回自動認識システム大賞を受賞。
- 12月 PC Worth社のコードレススキャナMBC6890を輸入販売開始。

平成17年
2005

- 1月 組込用バーコード読取ソフトImageStar QR/eを開発。
本社ビル名が、トーセンビルからダヴィンチ池尻大橋に変更。
- 3月 名古屋営業所を名古屋市中区葵に移転。
ラベル印刷ソフトLabelStar Workerを(株)プラネットと共同開発。
- 8月 KES環境マネージメントシステム スタンダード ステップIIを取得。
- 10月 米国Symbol Technology社とプレミアビジネスパートナー契約。

平成18年
2006

- 1月 Handheld Products社 二次元イメージャ IT4200輸入販売開始。
- 7月 Symbol Technology社のダイレクトパーツマーキングリーダを販売開始。
- 8月 Handheld Products社のバーコード検証機QC890を輸入販売開始。
PC Worth社のCCDスキャナ FBC3820/30/40を輸入販売開始。
- 9月 バーコード作成ソフトBarStarの共同著作権をプラネットから譲受。

平成19年
2007

- 1月 Handheld Products社リニアイメージャ 3800gを輸入販売開始。
- 4月 ラベル印刷ソフトLabelStarの共同著作権をプラネットから譲受。
- 6月 Vista対応のバーコード作成ソフトBarStar Pro V1.4を開発。
- 8月 社債5,000万円を発行。
本社ビル名が、ダヴィンチ池尻大橋から池尻大橋ビルディングに変更。
バーコード入出荷管理システムPOT Checkを開発。
- 11月 簡易バーコード印刷システム「バーコードコピヤ」を開発。
- 12月 (株)ゲートデバイスから倉庫管理システムPhoenixと
運行管理ソフトSilver Cruiseの著作権を譲受。古河事業所を開設。

平成20年
2008

- 4月 Vista対応のラベル印刷ソフトLabelStar Pro V3.0を開発。
- 7月 台湾SYRIS Technology社と日本代理店契約を締結し、温度・湿度・運
動センサー付RFID「監視タグ」を輸入販売開始。
Vista対応のデータ入力ソフトRS-receiver Lite V2.0を開発。
- 9月 「コンタクトレンズ販売履歴管理システム」が、(社)自動認識システム
協会の第10回自動認識システム大賞(特別賞)を受賞。
- 10月 倉庫管理システムPOT Managerを開発。
- 11月 運行管理ソフトSilver Cruise V2.1を開発。
- 12月 古河事業所を本社に統合。

平成21年
2009

- 3月 マイクロテクノ(株)と代理店契約を締結し、マルチICカードターミナル
SMRT-43を販売開始。
- 5月 名古屋営業所を名古屋市中区白壁に移転。
- 7月 (株)イージーウェアと代理店契約を締結し、モバイルエージェント
ソフト EmPlus V3.0を販売開始。
- 9月 韓国M3 Mobile社とパートナー契約を締結し、業務用PDA M3 Sky/
Whiteを輸入販売開始。共同配送配車システム「POT配車」を開発。
- 11月 PC Worth社の高性能リニアイメージャ F688(BT)を輸入販売開始。

平成22年
2010

- 1月 PC Worth社の汎用リニアイメージャ F468を輸入販売開始。
- 2月 Windows 7対応バーコード作成ソフトBarStar Pro V2.0を開発。
- 5月 バーコード読取ソフト ImageStar DLL V2.0を開発。
- 6月 固定型バーコードリーダFM480を輸入販売開始。Windows 7対応
データ入力ソフトRS-receiver Lite V2.1を開発。
- 7月 日本通信と仮想移動体通信支援者の業務委託契約を締結し、
モバイル通信サービス「AINIX MOBILE」を販売開始。
- 8月 韓国Bluebird Soft社とディストリビュータ契約を締結し、
ポケットスキャナBI-300を輸入販売開始。
- 9月 Windows 7対応ラベル印刷ソフトLabelStar Pro V3.1を開発。
- 10月 ドイツtopsystem systemhaus社とパートナー契約を締結し、
音声認識ソフトtopSPEECH-Lydiaを輸入販売開始。
Honeywell社の二次元イメージャ Xenon 1900を輸入販売開始。
- 11月 音声ピックアップシステム「POT Voice V1.0」を開発。
- 12月 米国LaserBand社とディストリビュータ契約を締結し、
医療用リストバンドLaserBandとFusionBandを輸入販売開始。

平成23年
2011

- 3月 Amazonにアイニックスストアを出店。
- 6月 Bluebird社の業務用PDA BM-170を輸入販売開始。
Yahooショッピングにアイニックスストアを出店。
- 10月 iPhone、iPod用バーコードスキャナアダプタScanJacketを販売開始。
- 12月 Honeywell社の高性能リニアイメージャ Hyperion 1300gを
輸入販売開始。

平成24年
2012

- 3月 コードレス高耐久性リニアイメージャ F790BTを輸入販売開始。
- 5月 LaserBand社の救急用リストバンドStatBandを輸入販売開始。
- 7月 PC Worth社の汎用リニアイメージャ F560を輸入販売開始。
ドイツREA社のバーコード検証機 Check ERを販売開始。
- 11月 簡易印刷システム「バーコードコピヤ」 BCC720を販売開始。

平成25年
2013

- 3月 64ビット対応のバーコード作成ソフトBarStar Pro V2.1と、バーコードラベル印刷ソフトLabelStar Pro V3.2を開発。
- 10月 PC Worth社の二次元イメージャ A770を輸入販売開始。
- 11月 コードレスバーコードコピヤBCC4030を販売開始。
- 12月 本社ビル名が、池尻大橋ビルディングからKDX池尻大橋ビルに変更。

平成26年
2014

- 1月 代表の平本 純也が、一般社団法人流通システム開発センター主催、流通システム化推進業貢献者の個人部門で表彰。
- 3月 創立20周年パーティを東京インターコンチネンタルホテルで開催。
- 5月 iPod Touch/iPhoneを使用した棚卸システム「POT棚卸」を開発。
- 7月 Windows 8対応データ入力ソフトRS-receiver Lite V3.0を開発。
- 8月 Bluebird社の業務用モバイルターミナルBM180とBP30を輸入販売開始。
- 9月 「復興作業員の入退場及び被曝線量管理システム」が、第16回自動認識システム大賞(フジサンケイ ビジネスアイ賞)を受賞。
バーコード読取ソフトImageStar V2.0を開発。
- 10月 Marson社のミニポケットスキャナMT1197MWを輸入販売開始。
- 11月 名古屋営業所が、白壁ビルの705号室から406号室に移転。

平成27年
2015

- 4月 リストバンド印刷ソフト「かんたんリストバンド」V2.0を開発。
- 5月 韓国CyberTel Bridge社の音声・動画同報通信システムEveryTalkを輸入販売開始。楽天市場に自動認識のオンラインショップを出店。
- 6月 Marson社のポケットNFCリーダMR10A7を輸入販売開始。
- 7月 32/64ビット対応のバーコード作成ソフトBarStar Pro V3.0を開発。
- 9月 「IoTによる溶接ロボット統合型生産管理システム」が、第17回自動認識システム大賞に入選。
- 11月 ラベル印刷ソフトLabelStar Pro V4.0を開発。
Marson社の高性能CCDスキャナ MT8015W を輸入販売開始。
- 12月 マイナンバーリーダ MyNumber 1900gOCRを販売開始。

平成28年
2016

- 3月 大阪営業所が川丸ビルの5階から4階に移転。
- 4月 ホームページをリニューアルオープン。
- 9月 害獣捕獲監視システム「わなタグ」が、第18回自動認識システム大賞(フジサンケイビジネスアイ賞)を受賞。
- 10月 Marson社の業務用ポケットスキャナMT1297/1227Lを輸入販売開始。
- 12月 中国Generalscan社のリングスキャナGSR-1000BTを輸入販売開始。

平成29年
2017

- 1月 ドイツREA社とバーコード検証機の代理店契約を締結。
- 2月 出荷・検品・棚卸システム POT Check 3.0 を販売開始。
REA社の二次元バーコード検証機 VeriCube を輸入販売開始。
- 4月 個人情報保護に関する第三者認証「JAPHICマーク」を取得。
Generalscan社の二次元リングスキャナGSR-5000BTを輸入販売開始。
- 9月 Marson社のリングスキャナ MT500Lを輸入販売開始。
- 12月 害獣捕獲監視システム「わなタグ」を販売開始。

平成30年
2018

- 3月 「捕獲通知方法、捕獲検知器、捕獲器及び捕獲通知システム」の特許を富士通と共同取得。(特許番号:特許第6313070号)
- 4月 Generalscan社のコンパニオンスキャナ GSM-500BTを輸入販売開始。
モバイルバーコード検査システム「かんたんチェッカ」を販売開始。
- 6月 韓国SoluM社の電子棚札/電子ラベルESLを輸入販売開始。
- 9月 音声認識を用いた出荷検品システムPOT Voiceが第20回自動認識システム大賞に入選。
- 11月 本社ビルの名称が池尻大橋ビルディングに変更。

平成31年
令和元年
2019

- 2月 ドイツEhrhardt+Partner GmbH社と倉庫管理システム"LF5"を日本で販売するための覚書を締結。
- 3月 創立25周年記念パーティをザ ロイヤルパークホテル東京夕留で開催。
- 4月 データ入力ソフト RS-receiver Lite V4.0を開発。
- 5月 Marson社UHF帯ポケットRFIDリーダ MR11A7J を輸入販売開始。
- 6月 Marson社ミニポケットスキャナ MT100Aを輸入販売開始。
- 8月 (株)ボーグテクノロジーに出資し、平本 純也が同社の監査役に就任。
- 9月 PC Worth社の手持型二次元イメージャ A660とA680/A680BTを輸入販売開始。
- 10月 中国Huayuan社の感熱式RFIDリストバンドを輸入販売開始。

令和2年
2020

- 1月 PC Worth社の固定型二次元イメージャ FA480を輸入販売開始。
- 4月 スイスScandit AG社のバーコードスキャナソフトSCANDITを販売開始。
- 10月 韓国SoluM社の電子棚札/電子ラベル Newton ESLを輸入販売開始。
- 12月 本社営業部が池尻大橋ビルディング8階に移転。

令和3年
2021

- 3月 PC Worth社の手持型二次元イメージャ A560を輸入販売開始。
- 4月 Generalscan社のコンパニオンスキャナGSM-500BT-SEを販売開始。
- 6月 PC Worth社のプレゼンテーションスキャナS680を輸入販売開始。
- 12月 Generalscan社のリングスキャナGSR3521、Marson社のリングスキャナM581を輸入販売開始。

令和4年
2022

- 2月 名古屋営業所が白壁ビル10階に移転。
Generalscan社のリングスキャナGSR1120を輸入販売開始。
- 5月 ドイツWorkaround社のウェアブルスキャナProGloveを輸入販売開始。
- 10月 Bluebird社のUHF帯RFIDモバイルコンピュータ HF550Xを輸入販売開始。
- 11月 Window11対応 バーコード作成ソフトウェア BarStar Pro V4.0を販売開始。
- 12月 Marson社の業務用二次元ポケットスキャナ MT850を販売開始。

令和5年
2023

- 4月 ドイツCAPTRON Electronic GmbHとデジタルピッキングシステムSMARTCAPの代理店契約を締結。
Windows11対応 バーコードラベル印刷ソフトウェア LabelStar Pro V5.0を販売開始。
- 5月 韓国SoluM社のNewton LEDピッキングESLを輸入販売開始。
中国Hikrobot Intelligent Technology社と産業用バーコードスキャナの代理店契約を締結。

主な納入先

アイオン、味の素冷凍食品、アシュリオンジャパン、アドインテ、アドバンテスト、アネスト岩田、アマゾンジャパン、イオンモール、いけうち、イシダ、伊藤忠テクノソリューションズ、内田洋行、エイジス、エクサ、エネサーブ、NTTデータ・スマートソーシング、エヌ・ティ・ティ・ロジスコ、大阪シーリング印刷、大家商会、オオサキメディカル、小川香料、オージス総研、オールユニール、カインズ、カシオ計算機、カネカソーラーテック、川崎重工業、官公学生服、関通、ギャップジャパン、京セラドキュメントソリューションズ、キャノンITソリューションズ、キリンググループロジスティクス、倉本産業、グンゼ、KDDI、コカ・コーラボトラーズジャパン、小林クリエイト、小林産業、小松製作所、コマツ物流、サトー、ザ・バック、サントリービジネスエキスパート、三栄電機、資生堂、JFEエンジニアリング、JP楽天ロジスティクス、システナ、シネックスインフォテック、シノテスト、CDC情報システム、清水建設、昭和電工マテリアルズ、ジャパンミート、ジーユー、新盛インダストリーズ、新生テクノス、日鉄ソリューションズ、新日本ウエックス、スマレジ、住友ゴム、生活協同組合連合会、セイコーインスツル、セイコーエプソン、セイノー情報サービス、積水化学工業、積水成型工業、SB C&S、タイガースポリマー、大興電子通信、太陽日酸、ダイハツ工業、ダイヘン、ダイワボウ情報システム、タカラベルモント、タカラスタンダード、瀧富工業、拓洋、多摩屋、中央電子、中電シーティーアイ、千代田組、大日本印刷、DNPデータテクノ、DNPフォトイメージングジャパン、テクノメディカ、寺崎電気産業、寺岡精工、東海工業ミシン、東芝テック、東電物流、東洋水産、東洋電機、東洋アルミニウム、TOYO TIRE、東横インIT集客ソリューション、東亜エレクトロニクス、常盤メディカルサービス、トッパンフォームズ、トニーカネツソリューションズ、トラスコ中山、長瀬ランダウア、西川、新田ゼラチン、日本航空、日本コンテック、日本システムテクノロジー、日本精工、日本電気、日本写真印刷、日本デジコム、日本ペイント、日本輸送機、沼尻産業、バイオメディカルサイエンス、パイロットインキ、萩原テクノソリューションズ、パナソニック、バンキングチャネルソリューションズ、白銅、ハスクバーナ・ゼノア、ハーマン、バンドー化学、BIPROGY、PFU、日立建機、日立金属、日立造船、日立システムズ、ビーアイエムシー、BMLメディカルワークス、ファイザー・ファーマ、ファルコバイオシステムズ、福井、フェイスメディカル、フジテック、富士ソフト、富士写真フイルム、富士通、富士通Japan、ブックオフコーポレーション、プラステ、ブリヂストン、ブレン・カンパニー、堀場製作所、三井倉庫エクスプレス、三菱電機ITソリューションズ、メイラ、八洲産業、ヤマトシステム開発、ヤマニ屋物流サービス、UPSサプライチェーンソリューションジャパン、ユニクロ、楽天、りゅうせきフロントライン、リンナイ、ルビコン、ロジスティードソリューションズ、ロート製薬、ローム浜松、他(50音順)

主な仕入先

IDEC AUTO-ID SOLUTIONS、アイオイ・システム、アイメックス、アジェンダ、アヴネット、RFIDアライアンス、アルフ、アンデス、イージーウェア、イメージャー、ウェルキャット、ウェルコムデザイン、エスピック、NTTデータカスタマサービス、大阪シーリング印刷、オカバマーケティングシステム、オプトエレクトロニクス、カシオ計算機、河淳、キャノンマーケティングジャパン、グローリー、コネクシオ、コンピュータマネージメント、サイレンスネット、サトー、三京インテック、シーエスイー、ジーエルソリューションズ、CJPシステムソリューションズ、システムデザイン、システムデータ機器、杉原エス・イー・アイ、スマレジ、テクノツリー、デュプロ、デンソーウェーブ、東海ソフト、東芝テック、東邦電子、日精、日本システムウェア、パナソニック コネクト、日立ケーイーシステム、PAデータサービス、藤田電機製作所、フェニックス、富士通Japan、富士通アイソテック、富士通フロンテック、ブラザー販売、ブレイン、ベネトレイト・オブ・リミテッド、ボーグテクノロジー、マーストリーケンソリューション、ユーザックシステム、ユニテックジャパン、リンテック(50音順)

Zebra Technologies International(米国)、Honeywell(米国)、topsystem systemhouse(ドイツ)、EPG(ドイツ)、REA Elektronik(ドイツ)、Workaround(ドイツ)、CAPTRON Electronic(ドイツ)、Scandit AG(スイス)、PC Worth(台湾)、Marson Technology(台湾)、SYRIS Technology(台湾)、Bluebird(韓国)、SoluM(韓国)、Generalscan Electronics(中国)、DYscan Technology(中国)、Shanghai Yuli Electronics(中国)、Huayuan Electronic(中国)、Shenzhen RICH RFID Technology(中国)、Porr Technology(中国)、Fuzhou Me ethope Trading(中国)、Hangzhou Hikrobot Intelligent Technology(中国)、VTI Corporation(ベトナム)、他